BEST AVAILABLE COPY

JP-U-53-71110

In a thrust bearing for an overhead camshaft, which receives a thrust load, a disk shaped flange 1b is formed at an end of a camshaft 1. The disk shaped flange 1b is housed in a bore provided in a back wall 2b of a cylinder head. A front surface circumferential periphery of the disk shaped flange 1b is in contact with a step portion 2c in the bore so that a forward movement of the camshaft 1 is prevented. A square shaped plate cover 5 is fastened to the back wall 2b by four bolts 6. A back surface of the flange 1b is in contact with a front surface of the cover 5 so that a backward movement of the camshaft 1 is prevented. Accordingly, an axial thrust force applied to the camshaft is received by the cylinder head 2 via the step portion 2c and the cover 5.

21

公開実用 昭和53-71110





(3,000円) 実用新案登録願 (2)

特許庁長官 殿

週

昭和5/年//月/6日

(ほか / 名)

考案の名称 カムシャフトのスラスト受

考 案 者

氏 名 岩 朝 実用新案登録出願人

住 所 東京都港区芝五丁目33番 8 号

名 称 (628) 三菱自動車工業株式会社

代表者 久保富夫

代 理 人

但 所 東京都港区芝丘丁目33番8号

三菱自動革工業株式会社内

氏 名 (6528) 弁型士 広 渡 鷸 彰(ほか1名)

復代理人〒156

併 所 東京都世田谷区桜丘2丁目6番28号

電話 03 (428) 5106

氏名 (6787) 樺山 亨

添付書類の目録

(1) 明 細 書 1通 (3) 委 任 状 2通

(2) 図 面 1通 (4) 順書刷本 1通

51 153756

53-71110

明 細 書

考案の名称 カムシャフトのスラスト受 実用新案登録請求の範囲

オーバーヘッドカムシャフトの後端に形成された円板状つばに当接して同シャフトの後向スラストを担持するカバーを、シリンダヘッドの後壁に着脱可能に固設し、かつ、同カバーとつばとの当接面に給油するための圧油路を成す癖を、該カバーの前面に穿設したことを特徴とするカムシャフトのスラスト受。

考案の詳細な説例

この考案は、自動車エンジン等に用いられるオーバーヘッドカムシャフトのスラスト受に関するものである。

オーバーヘッドカム型の場合には、カムシャフトはシリンダヘッドに形成されたサボートに軸受されると共に、軸方向のスラストは、シリンダヘッドに配設されたスラスト受によって担持される。しかして、この種スラスト受では、その担持面が高速で回転するカムシャフトの端面に圧接する

- 1 -

公開実用 昭和53-71110

ので、その当接面に対し欄滑が必要であり、この ことから、従来一般には、シリンダヘッドの内部 に屈折した給油通路を設け、この油路を介して当 接面に潤滑油を供給する構造が用いられ、従って、 従来のシリンダヘッドでは、その分だけ製造時の 加工作業が複雑になることが避けられなかった。

本考案は、上記問題点を解消するためになされたものであって、すなわち、本考案の目的は、シリンダヘッドの端部以外に複雑な油路の加工を必要としないカムシャフトのスラスト受を提供することにある。

以下、凶示の一実施例に基づいて本考案を説明する。

しかして、前端にタイミングプーリ4を軸着したカムシャフト1は、そのジャーナル 1aがシリンダヘッド2のサポート 2a に軸受されることにより、シリンダヘッド2 に回転自在に凝架されている。



なお、符号7は、シリンダヘッド前壁貫通孔のシ ール材を示している。

さらに、カムシャフト1の後端には、円板状のつば1bが形成されていて、このつば1bは、シリンダヘッドの後壁2bに穿設された円孔内に入り込むと共に、つば1bの前面周縁が円孔段部2cに当接することにより、カムシャフト1の前向移動が阻止されている。

また、ヘッドの後壁 2bには、方形板より成るカバー5が4本のボルト6で締着されていて、かつ、つば 1bの後面はカバー5の前面に当接し、これにより、カムシャフト1は後方に抜止めされている。このようにして、カムシャフト1に加わる軸方向のスラストは、段部 2cとカバー5によってシリンダヘッド2に担持されている。

次に、カバー5は、オ2図ないし才5図に示すように、つば1bとの当接摩擦を低減させるために、その中央部5aを円形に後方に退出させてむり、また、その前面には、油孔5bと中央部5aを連通する油路5cが帯状に穿たれると共に、同油路5cと中央

Continuent and the Control of the Co

公開實用 昭和53-71110

部 5a を囲 總 する 溝 には O リング 8 が 嵌 着 され ている。

一方、シリンダヘッド 2 には、上述油孔 5bの対接箇所に開口する圧油路 9 と、その後壁 2bの円孔底に開口する戻し油路10が形成されており、これにより、スラストを担持するための当接面、すなわちつば1bの前、後両面には、常に潤滑油の被膜が形成されている。なお、これらの油路 9、10はシリンダヘッド 2 の端部に穿設された直孔なので、その加工は極めて簡単であり、ヘッドの加工費を特に増大させるようなことはない。

以上のように、本考案に係るカムシャフトのスラスト受によれば、シリンダヘッドの後壁に締着されたカバーを利用してカムシャフトの抜止作用を行わせると共に、同カバーの前面に給油路を設けたので、シリンダヘッドの製作費を低減させる経済的効果が大きい。

図面の簡単な説明

氷1図は、本考案の一実施例を示すカムシャフ

トのスラスト受の側断面図、か2図は、か1図の方向上における後面図、か3図は、か1図の右半部を拡大して示す図、か4図は、か2図のIV-IV線における側断面図、か5図は、か2図に示すカバーの前面図である。

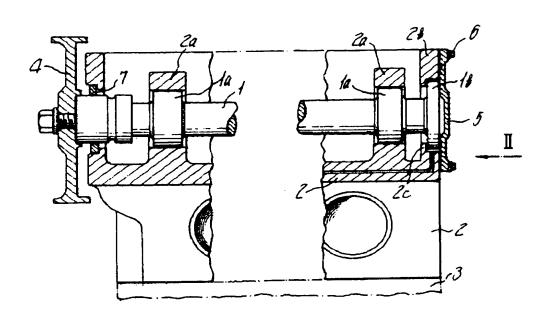
1 … カムシャフト、 1b…つば、 2 … シリンダヘッド、 2b…同後壁、 5 … カバー、 5c…油路。

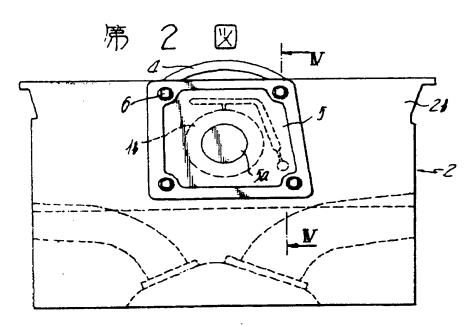
復 代 理 人 樺 山 亨



公開実用 昭和53—71110

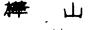
第 1 図

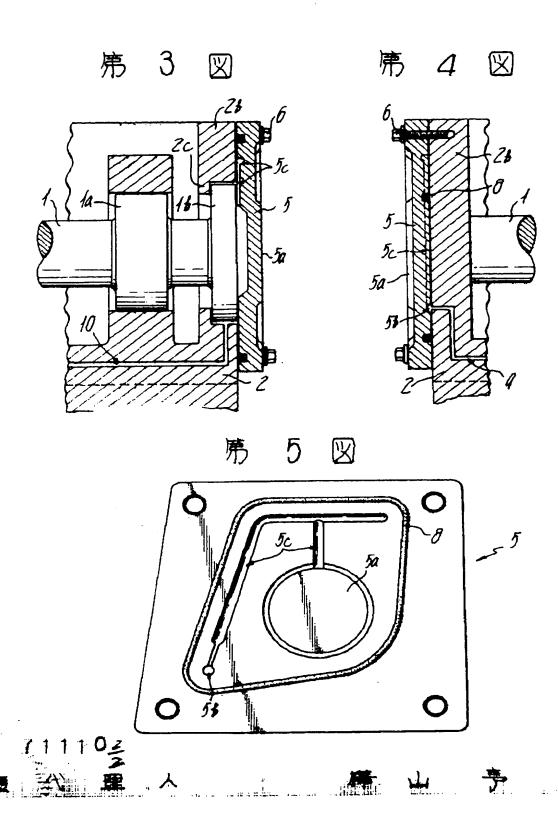




711102







公開実用 昭和53-71110

前記以外の考案者および代理人

(1) 考案者

住 所 京和府京都市西京区 在御所町 28 番地の/

切代埋人

任 所 東京都港区芝五丁目33番8号

三菱自動車工業株式会社内

氏 名 (6627) 日 昔 吉 武

53-71110

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

□ SKEWED/SLANTED IMAGES

☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS

☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.